

10月中旬発売予定

『西川勝人 静寂の響き』

ドイツを拠点に活動する西川勝人(1949-)は、光と闇、その間の漠とした陰影に心を配り、多様な技法を用いた作品を、40年以上にわたり手がけてきました。抽象的なフォルムをもつ彼の白い彫刻は、木や石膏を用いた簡素な構造ながら、表面に淡い陰影を宿し、周囲の光や音さえもそっと吸い込んでしまうように、ただ静かにあります。



仕様：225 x 280 mm / 上製本 / 140P
 執筆：前田希世子(DIC川村記念美術館)
 デザイン：田中義久、古庄果奈(Center Inc.)
 言語：日本語 / 英語
 定価：4,800円+税
 発行：DIC川村記念美術館
 発売：torch press
 ISBN：978-4-907562-51-9 C0071

本展は、1980年代より現在まで、一定して静けさという特質を保持し続ける西川作品の美学に触れる日本初の回顧展です。彫刻、写真、絵画、ドローイング、インスタレーション、建築的構造物の約70点が、作家自身の構成によって展示されます。静寂が拡がり、静謐さに包まれた空間で、私たちはどのような情景と出会うのでしょうか。

展覧会図録では、作品撮影も含めて作家である西川自身が撮影した写真で全ページを構成しています。インスタレーションビューも交え一点一点丁寧に紹介することで、静寂の中にそれぞれのマチエールが浮かび上がってきます。白さの中にあるグラデーションを表現している作品と呼応するように、装丁も白の中に2種のエンボスで表情を出しています。作家としての西川の創作のエッセンスが本全体に凝縮されたアーティストブックのような一冊です。

関連展示

「西川勝人 静寂の響き」
 ~2025年1月26日
 DIC川村記念美術館



西川勝人

1949年東京生まれ。美術を学ぶため、関心を寄せていたバウハウス誕生の地ドイツに23歳で渡り、ミュンヘン美術大学を経て、デュッセルドルフ美術大学でエルヴィン・ヘーリッヒに師事。1994年以降、ノイス市にあるインゼル・ホンプロイッヒ美術館の活動に参画し、美術館に隣接するアトリエを拠点に活動。自然との融合を意識したプロジェクトや、彫刻、平面から家具まで、異なる造形分野を横断しながら制作。シンプルな構造と簡素な素材を用い、光と闇、その間に広がる陰影について示唆に富んだ作品を生み出し続けている。現在はハンブルグ美術大学名誉教授として後進の指導にもあたる。デュッセルドルフ市文化奨励賞受賞。

FAX: 03-3721-1922

mail: info@tsubamebook.com
 TEL: 03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名(番線印) ご担当： 様	新刊 torch press www.torchpress.net 買切品
	注文数 『西川勝人 静寂の響き』 ISBN978-4-907562-51-9 C0071 定価5280円(税込)